

に変化させたことによる PV フラックス分布の微小な変化によって、二次流れ場は大きく変形される。このことは、eddy strainig 効果の有効性は、総観規模擾乱の水平構造にも依存していることを示している。

従って、本研究の結果から、擾乱に伴う PV フラックスが、北で発散し、南で収束するという双極子構造

は、必ずしもブロッキングの南北双極子構造を維持するとは限らないことを示唆している。このことは、特に、データ解析によってブロッキングの維持にはたす総観規模擾乱の役割を評価する場合に注意しなければならない。



### 第4回「明日への環境賞」(朝日新聞社) 応募推薦募集

1. 賞の対象：環境保全に貢献する実践活動（NGO や自治体、企業などの活動、著作や映像など）、日本国内での活動および、日本人または日本に本拠を置く団体による海外での活動に限ります。個人・団体を問いません。
2. 表彰：5件前後に、それぞれ本賞（賞杯）と副賞100万円を贈ります。  
2003年4月の朝日新聞紙上で発表し、同月に贈呈式を行います。

#### 3. 資料請求・応募先：

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞社事業本部メセナ・スポーツ部「明日への環境賞」事務局

応募要領の詳細は <http://mytown.asahi.com/event/> または日本気象学会事務局まで。

#### 4. 応募期限：2002年10月18日（金）必着



### (財)国際コミュニケーション基金平成14年度助成・援助募集

1. 調査研究助成：国際分野を主軸とし、また、国内も含めた通信の普及・発展、グローバル化、特に、マルチメディア時代を先取りする調査、研究（法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの）。
2. 国際会議開催助成：通信の普及・発展に寄与する国際会議。
3. 社会的・文化的諸活動助成：情報化社会の動向に即し、電気通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の非営利団体（NPO）・非政府組織（NGO）の活動、「草の根」活動等。

募集内容や条件、募集方法の詳細については、下記ホームページまたは気象学会事務局（03-3212-8341内2547）まで。

募集期間：2002年10月1日（火）～10月18日（金）（必着）

申込先：〒163-0907 東京都新宿区西新宿2-3-1

新宿モノリス7F（私書箱7003号）

(財)国際コミュニケーション基金

Tel：03-3347-7094, Fax：03-3347-6439

E-mail：info@icf.or.jp

HP：http://www.icf.or.jp/